

事務事業名	簡易水道配水給水維持管理事業				会計	簡易水道			
					事業種別	経常	開始	終了	
H27担当課等名	水道課		H27係等名	維持係		H26係等名	維持係		
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
	施策	45	居住基盤の向上						
目的	対象(誰・何を)	市営簡易水道事業				対象指標	指標名及び単位		26年度数値
	意図(どういう状態にするか)	適正に配水給水施設を維持管理することにより、公衆衛生の向上と生活・事業基盤の向上を図る					簡易水道事業数		1
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度							
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	適正に維持管理された施設数 / 全施設数 × 100%			100	100	100	100	
	定性目標								
事業概要	配水給水施設を適正に維持管理及び改修することにより、水道法に定められた給水水質を満たした安全安心な水道水を安定的に供給する。								
26年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 配水給水施設維持管理				1 配水延長 2 給水栓数		1 49,028m 2 1,287栓		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		4,702	9,447	5,724	13,285				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		3,216	2,395	2,602	3,056				
一般財源		1,486	7,052	3,122	10,229				
人件費計(千円)②		5,497		5,497					
正規職員所要時間		960		960					
臨時職員所要時間		1,920		1,920					
総事業費①+②		10,199	9,447	11,221	13,285				
事業内容・目標達成状況の振り返り	適正な維持管理ができ、安全安心な水道水を安定的に供給できた。								
改革改善の考え方	①問題点	水道事業は全般的に専門技術、知識、経験が必要であるが、職員の削減、人事異動、熟練職員の退職等により熟練した職員が少ないため職員の養成が必要である。							
	②改革提案	水道職員の適正な経験年数と適正人員の確保。							